

令和6年度 学校経営の基本的な考え方

1 めざす学校像（合い言葉）の共有 …「みんなが楽しい学校」を進化させて

これまでの3年間の「みんなが楽しい学校」づくりの上に、「もっと楽しい御幸小へ」を合い言葉とし、特に、日々の授業が子どもたちにとって「楽しい」といえることを重視したい。

＜めざす学校像＞ **もっと楽しい御幸小へ**

「学ぶことが楽しい」 「自分のよさが発揮できて楽しい」

「みんなと関わることが楽しい」

「いじめのない安心できる学校」…みんなが楽しいための土台として

2 学校教育目標と重点目標、めざす子供の姿

子供も、教職員も、学校教育目標『自ら気づき、考え、実行する』ことを重視する。（この逆の『指示待ち・受け身・やらされ感』での行動とならないことを大事にする。）
本年度の重点目標は、「自分で決めて、進んで取り組む子の育成」とし、徹底して自主性・主体性を大事にする（子供も、教職員も）。

＜めざす子供の姿＞

○知…自分の目標に向け、自分で考え、進んで学べる子

- ・授業や家庭学習で、自分のやりたいこと（めあて）を自分で決めて行動する。
- ・進んで考えを伝えたり、友達の考えを聴いたりできる。

○徳…ちがいを認め合い、進んで友達に関わる子

- ・困っている友達に自分から関わるができる。
- ・お互いのちがいを、その人のよさをして認め合うことができる。

○体…自他の安全・健康に気をつけ、継続して運動に取り組む子

- ・自分（自分たち）が決めた運動の目標に、継続して取り組む。
- ・自他の安全を意識した行動ができる。

3 子供が主役の学級・学校づくりのさらなる推進（子供を「受け身」にさせない）

「学校は自分たち（子供）のもの」「学校をよりよくする（楽しくする）のは私たち（子供）だ」という意識と、「学校では、先生から言われて動くのではなく、自分たちで考えて行動する」という意識を子供も教職員ももつことを基本とする。

そのために、これまで本校が大事にしてきた特別活動における自治的・自発的な活動（学級活動(1)、児童会活動）に継続して取り組む。

4 全ての子供を大事にした学校づくり（特別支援・不登校等・いじめ）

特に、特別支援学級の児童が、交流学級においてクラスの一員としてつながり楽しく過ごせるようにする。また、不登校の子供（その傾向にある子）がこういった状態にあ

るか等を確実に把握する。さらに、いじめがあると「みんなが楽しい学校」にはならないので、未然防止、早期発見に努める。御幸小のきまり「自分がされていやなことは人にしない」を自分たちで守れるようにする。

5 めざす教師像 …子供と共に成長する自分づくり

- ・御幸小学校の全ての児童を大切にする教師（教職員全員で全児童を育てる）
- ・日々の教育活動を子供と共に楽しめる教師
- ・「指示」を徹底して減らし、「問いかけ」で子供の主体性を引き出す教師
- ・子供のよさに常に目をむけ、よさに気づき、価値付ける教師
- ・自分のよさを伸ばすために、自ら学び続ける教師
- ・訪問者や保護者、電話の相手等に対して、丁寧に対応する教師
- ・学校全体に関わる気づきについて、そのままにせず、すぐに報告（行動）する教師

6 めざす授業像 …子供が主役。子供が自ら学びたくなる楽しい授業づくり

- ・学ぶ楽しさ、学ぶ目的が明確な授業
…分かる楽しさ、できる楽しさ、考える楽しさ、創り出す楽しさ、関わる楽しさ等
- ・子供自ら活動する授業（受け身にさせない）
…自分で課題を見つける、自分で考える、自分から表現する等
- ・友達と関わり、互いに高め合う授業
…考えを伝え合う、みんなで工夫する、合意形成する等
- ・自分の伸びを実感できる授業
…授業ごと、単元ごとの振り返りの重視

7 めざす職場像 …「働きがい」と「働きやすさ」がある職場づくり

- ・新しいことに安心してチャレンジができる職場
- ・自分ができことで周りの役に立ち、できないことは互いに助け合える職場
- ・互いの立場や状況を理解し、お互いを尊重できる職場
- ・全体で確認したことや決めたことについて、全員が共通実践できる職場
- ・個々の問題を担当者だけで抱え込まず、すぐに共有して学校全体として解決する職場
- ・分からないことが気軽に質問できる職場
- ・互いの心身の健康状態や業務を気遣い、お互いに声かけができる職場
- ・疑問に思ったこと（改善したいこと等）を、遠慮せずに出し合える職場
- ・笑顔で挨拶を交わし合う職場